

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	十六夜観月文化推進事業
事業主体 (連絡先)	網掛区 (区長代理 清水 0268-82-5337)
事業区分	環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,773,375 円 (うち支援金 : 4,915,000 円)

事業内容

坂城町網掛地区の「十六夜観月殿」は、古くから観月の名所として知られており、郷人の手により大切にされ、今に伝えられています。

また、観月殿には、松尾芭蕉が更科紀行で詠んだ句をはじめ、多くの句碑が残されており、現在も毎年、観月会や俳句会を催すなど、地域の貴重な文化である観月殿の保存に取り組んでいます。

台風被害などにより、観月殿の茅葺き屋根の劣化が進んでいることから、茅葺き屋根の葺替えを行うとともに、記念の俳句会、パネル展など事業を実施しました。

また、葺替えの様子を記録し、今後の保存活動の活性化を図るため、記念冊子を作成するとともに、榊上田ケーブルビジョンの協力の下、映像記録を残しました。



【茅葺きの作業体験】

【目標・ねらい】

- ①観月殿に対する地域の関心を高める。(地域が主体となって、観月殿の保存に取り組む意識の高揚)
- ②観月・俳句などの伝統文化の振興

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

茅葺き屋根の葺替えには、職人の指導の下、地域住民・子どもたちが参加し、伝統文化への理解を深めるとともに、先人が大切に保存してきた観月殿を地域が主体となって継承していく意識が向上しました。

また、記念の俳句会には、地域内外から例年を大きく上回る投句が寄せられ、観月殿の認知度向上が図られました。

記念冊子や映像により、茅葺き屋根の葺替えの貴重な記録が残り、今後の観月殿の保存活動に活用されることが期待されます。

※自己評価 【 A 】

【理由】
地域住民や子どもたちが茅葺きの貴重な体験をするとともに、冊子や映像により充実した記録が残され、今後の保存活動にとって大変有意義な事業となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

先人から受け継がれた貴重な観月殿の保存に取り組むとともに、観月や俳句など観月殿を取り巻く特色ある文化活動を通じて、地域内外に観月殿をアピールし、観月殿を大切にする意識の更なる向上を図ります。

また、観月殿は、町の里山トレッキングコースのコース上にあることから、トレッキングに訪れる人に対し、町の生涯学習事業とも連携して、観月殿の景観と文化をアピールしていきたいと考えています。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	白鳥園協働の公園づくりプロジェクト2
事業主体 (連絡先)	白鳥園協働の公園づくり実行委員会 026-274-1971
事業区分	⑤環境保全、景観形成に関する事業 ⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,050,856 円 (うち支援金: 770,000 円)

事業内容

1. 花と緑の担い手づくり園芸教室

花と緑を楽しみたい市民、協働の公園づくりに興味のある市民を対象に、1年を通して園芸教室を開催した。園芸教室は、参加者が種まきから育てた花苗を花壇に植付けする「花苗の里親制度」や、バラやマツなどの手入れ方法などの教室を実施した。

2. 花と緑の回遊づくり

アートガーデンから岡本太郎オブジェ、日本庭園などを融合させた花壇・植樹・園路づくり、森づくりの植栽イベントを実施した。

3. 協働の公園づくり研究会

専門家を交えた研究会を通してデザイン・設計、また継続的な管理をできる技術的支援、体制づくりの検討を行った。



【育てた苗と球根の植付け】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

「花と緑の担い手づくり園芸教室」事業は、毎回、ガーデンサポーターを中心に常に20~30人が参加し、16回教室・作業の延べ参加人数は370名となった。さし芽、種まきは、参加者に里親になっていただき、育てた苗の半分を花壇に戻すという循環型の手法を取り入れ、参加者の熱心な取り組みにより苗を上手に生育させることができ、花壇に植え替えてからも各花きは綺麗な花を咲かせることができた。

「花と緑の回遊づくり」事業では、アートガーデンから岡本太郎オブジェ、日本庭園の間に芝張りなどを行った。レストランからの南側の風景が一変し、芝生広場の活用幅も広げることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

令和3年度は、日本庭園の復活に手がけ、アートガーデンから岡本太郎オブジェとの更なるつながりと一体感をつくる。引き続き多くの市民を巻き込み、花と緑の知識や技術向上と仲間づくりを進め、将来の公園管理体制の確立も図っていく。

本支援金による事業が終了する段階では、市民の森と市民交流花壇の骨格部分が出来上がる。協働の公園づくりに完成は無く、将来に渡り市民と作り上げていくものとする。樹木や花壇の管理は常に必要なことから、千曲市と本実行委員会が一体となり市民を巻き込む交流事業などを展開しながら管理を行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ①身近な緑(森)をつくり守る活動、身近な緑の大切さを次世代に伝える場所
- ②花と緑を通した市民(団体)交流の場、花種等の育成及び交換場所
- ③情報交換などができる市民活動の拠点づくり
- ④市民を巻き込み、緑化活動の仲間づくりを進め、将来の公園管理体制の確立

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・園芸教室を通してガーデンサポーターの技術力が向上、花苗の里親制度も順調、花壇づくりだけでなく除草や芝張りなども積極的に活動、ロコミで参加者も増加
- ・花と緑の回遊づくりで公園としての修景効果と居心地が向上

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地元にある桜を活かした自然学習推進・桜を見守ろう事業
事業主体 (連絡先)	治田公園桜再生プロジェクト実行委員会 (事務局 堀内 太一 026-272-8072)
事業区分	5 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	548,149 円 (うち支援金: 402,000 円)

事業内容

千曲市稲荷山の治田公園は、市管理の公園部分と西武土地改良区管理のため池部分と治田神社管理の境内地を総称して治田公園と呼ばれている。

本年度で2年目の取り組みとなるが、昨年度は台風の影響により自然観察会が実施できなかったため、今年度は自然観察会を複数回実施することにより、昨年度達成できなかった目標を達成したい。

また、数年かけて再生してきた桜を地域住民と一緒に見守っていく仕組みづくりをすることにより、地域の大切な場所という意識を高めていく。



【 樹勢観察会 】

【目標・ねらい】

- ①治田公園の広い PR による観光客等の増加
- ②地元住民で守っていくという住民意識の向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 治田公園の PR 事業：新型コロナの影響で他のイベントも少なく、対外的な PR があまりできなかった。
- 治田公園写真・写生コンテスト：毎年応募作品が増えてきているため、活動の浸透や PR 効果が出ていると感じる。
- 自然環境学習会：公園に集まる昆虫観察を実施したが、参加者からは好評をいただいた。
- 樹勢観察会：「地元で守る桜」という意識向上のため、成長の仕組みや肥料の大切さについての講義をいただいた後に、実際に作業することにより、地元で咲かせているという意識向上につながった。

※自己評価 【 B 】

【理由】
新型コロナの関係で、期待通りの活動ができなかったが、地元の意識向上にはつながった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

次年度以降も、維持管理の活動は実施していくが、イベント等については新型コロナが落ち着くまで自粛したほうが良いと考えております。

まずは身近な自然を感じてもらえるように、地元の方を中心に PR 活動等を行っていきたくと考えております。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある